

平成27年度  
高鍋町外部評価委員会  
報告書

平成27年10月  
高鍋町外部評価委員会



## 目 次

1. 高鍋町外部評価委員会とは . . . . .	1
2. 外部評価委員会委員名簿 . . . . .	1
3. 平成27年度高鍋町外部評価委員会による評価実施概要 . . . . .	2
4. 評価対象の事務事業 . . . . .	2
5. 高鍋町外部評価委員会の開催日時 . . . . .	3
6. 評価表及び評価結果 . . . . .	4 ~ 39
7. 今後の課題と改善への提言及び要望 . . . . .	40

## 1. 高鍋町外部評価委員会とは

各課が実施した事務事業評価（内部による1次評価）の結果について、評価の客観性・公平性・信頼性を高めるために、第三者評価機関として外部評価委員会を設置し、評価を行う。ただし、その事業の継続や廃止、休止等の判断ではなく、町の内部評価に対する外部からの客観的評価と位置づける。

## 2. 外部評価委員会委員名簿

外部評価委員会は、下記の7名（学識経験者2名、公募委員5名）で構成されている。

### 【高鍋町外部評価委員会委員】

役職	氏名		任期
委員長	入谷 貴夫	学識経験者：宮崎大学 教育文化学部教授	平成26年 8月 1日～ 平成28年 3月31日
副委員長	山田 恭子	学識経験者：宮崎産業経営大学 経営学部講師	平成27年 8月 1日～ 平成29年 3月31日
委員	臼山 元義	公募委員	平成26年 8月 1日～ 平成28年 3月31日
委員	湯浅 千春	公募委員	平成26年 8月 1日～ 平成28年 3月31日
委員	知念 美佳	公募委員	平成26年 8月 1日～ 平成28年 3月31日
委員	中村 康夫	公募委員	平成26年 8月 1日～ 平成28年 3月31日
委員	二宮 國光	公募委員	平成27年 8月 1日～ 平成29年 3月31日

### 3. 平成27年度 高鍋町外部評価委員会による評価実施概要

◎ 対象年度：平成26年度継続事業

◎ 対象数：事務事業12件

外部評価委員7名が、平成27年度評価事務事業51事業から選択。

◎ 評価手順：

(ア)事務事業の評価表と参考資料を配布する。

(イ)各担当職員が評価表に沿って説明を行う(10分)。

(ウ)質疑応答・意見交換を行う(20分)。

(エ)外部評価シートへの記入により、評価判定及び意見の集約を行う。

### 4. 評価対象の事務事業

No.	事務事業名	担当課
1	美しい農地景観形成活動補助金	産業振興課
2	食育・地産地消推進事業	
3	農産物加工施設管理運営事業	
4	総合交流ターミナル施設管理運営事業	
5	都市下水路事業	上下水道課
6	高鍋湿原管理運営事業	社会教育課
7	乳幼児医療費助成事業	福祉課
8	民生委員児童委員協議会運営支援事業	
9	プール運営事業	健康保険課
10	商店街にぎわい創生事業	産業振興課
11	たかなべ未来づくり事業	政策推進課
12	「ふるさと納税制度」促進事業	

## 5. 高鍋町外部評価委員会の開催日時

平成27年度は外部評価委員会を3回開催し、12事業について審議。

その他、町長への答申を行う。

委員会	日時	審議内容等	会場
第1回	平成27年9月1日(火) 13:10~16:45	事業評価(4事業) ・美しい農地景観形成活動補助金 ・食育・地産地消推進事業 ・農産物加工施設管理運営事業 ・総合交流ターミナル施設管理運営事業	第1会議室
第2回	平成27年9月3日(木) 13:30~16:45	事業評価(4事業) ・都市下水道事業 ・高鍋湿原管理運営事業 ・乳幼児医療費助成事業 ・民生委員児童委員協議会運営支援事業	第1会議室
第3回	平成27年9月4日(金) 13:30~16:45	事業評価(4事業) ・プール運営事業 ・商店街にぎわい創生事業 ・たかなべ未来づくり事業 ・「ふるさと納税制度」促進事業	第1会議室

### 【その他】

日時	内容	会場
平成27年10月14日(水) 13:30	町長へ報告書提出	応接室

## 6. 評価結果の概要

担当課による1次評価(内部評価)をふまえ、外部評価委員会では、その事業の「目的・内容、成果指標、活動指標、妥当性、有効性、効率性」を勘案して評価を行った。その結果については、以下のとおりである。

ただし、評価判定については、事業の今後の方向性や改善点等にも様々な捉え方があるため、意見提言の形で委員会の意見を集約した。

評価表

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	294	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	美しい農地景観形成活動補助金				
担当課(局)・係	産業振興課	産業企画係	記入者	有村 真樹	
事業期間	H26 年度 ~	H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告 掲載あり
事業の内容	環境保全型農業の推進や農地景観の向上を行う農業者に対し、種子代の補助を行うことで農家の負担の軽減し活動の継続を支援する。				

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください
---------	--------	----------------

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	2-1 自然環境や景観を大切にす まち	(2) 美しい景観の整備	景観形成の推進
	4-1 活力ある産業が育つまち	(1) 活力ある農林水産業の振興	環境保全型農業の推進

第五次高鍋町総合計画 (後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●景観条例や景観計画に基づく良好な景観への規制・誘導を図ります。</li> <li>●町民や事業者に対して景観条例や景観計画の周知に努め、連携した取り組みを進めます。</li> <li>●町民が主体的に行う景観づくり活動を支援します。</li> <li>●城下町高鍋としての歴史的・文化的な景観の保全を図ります。</li> <li>●農地景観を保全する活動（ひまわりやコスモス植栽など）への支援を行います。</li> <li>●耕畜連携における環境保全型の農業の推進に努めます。</li> <li>●農業用廃プラスチックの適正処理及び排出抑制の推進に努めます。</li> <li>●家畜排せつ物の適切な処理の指導を行います。</li> </ul>
	主要な成果	<p>環境保全型農業の推進や農地景観の向上の活動を行っている、農家(染ヶ岡・坂本地区耕作者)にひまわり種子代の補助を行うことができた。(ひまわりは農地景観及び緑肥として使用。きゃべつ畑のひまわり祭開催。)</p> <p>・平成26年度 むらづくり部門 内閣総理大臣賞受賞</p>

決算額	款	農林水産業費	項	農業費	目	農政企画費	細目	農政企画費
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算		
	報酬	— 円	0 円	原材料費	— 円	0 円		
	賃金	— 円	0 円	公有財産購入費	— 円	0 円		
	給料	— 円	0 円	備品購入費	— 円	0 円		
	職員手当等	— 円	0 円	負担金補助・交付金	— 円	2,415,000 円		
	共済費	— 円	0 円	扶助費	— 円	0 円		
	報償費	— 円	0 円	貸付金	— 円	0 円		
	旅費	— 円	0 円	補償補填・賠償金	— 円	0 円		
	公債費	— 円	0 円	償還金・利息・割引料	— 円	0 円		
	需用費	— 円	0 円	投資及び出資金	— 円	0 円		
	役務費	— 円	0 円	寄附金	— 円	0 円		
	委託料	— 円	0 円	積立金	— 円	0 円		
	使用料・賃借料	— 円	0 円	公課費	— 円	0 円		
	工事請負費	— 円	0 円	繰出金	— 円	0 円		
			合計	0 円	2,415,000 円			

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
作付面積	ha	現地確認	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	作付面積	ha	目標値				染ヶ岡地区および坂本地区の一部に作付
			実績値			約80	
			目標達成率				
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	現地確認	回	計画値				ヒマワリの作付状況確認
			実績値			3	
			計画値				
実績値							
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価								
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト以上の成果あり								
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である								
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている								
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している								
	すでに目標を達成していないか	継続必要あり										
主管課(局)による評価												
この事務事業に対する考え				今後の方針								
口蹄疫復興に寄与しているきゃべつ畑のひまわり祭りを継続させるためにも事業継続が必要と考える。 ひまわりの作付面積の拡大が考えられるため、予算の増額が必要と考える。				事業	コスト							
				維持	拡充							
内部評価	判定結果		コメント	・名物イベントとして定着している。ネームバリューを活かしリピーター確保するためにも安全面や運営面で必要な経費は拡充しても良いと思う。 ・あくまで種子代として補助するのであれば、維持が適当 ・元々は緑肥にするためにヒマワリを植えたことから始まったが、補助金名にあるように趣旨がイベント補助になっている。緑肥は毎年施肥する必要はないと思うが、逆に連作障害は発生しないのか。 ・観光に貢献しているので維持すべき。 ・「ひまわり～」が代表的なイベントとなっている現状から補助事業としての位置付けを再考する必要があるのではないか。								
	事務事業評価適合性											
	適合											
	事業	コスト										
	維持	維持										
外部評価	判定結果		委員数	0名	拡充	名	維持	名	縮小	名	廃止	名
	目的・内容	成果指標	意見提言									
	活動指標	妥当性										
	有効性	効率性										



1	美しい農地景観形成活動補助金	担当課	産業振興課
---	----------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数

6名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (4名) 妥当である (1名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (1名) なっている (5名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (2名) なっている (4名) なっていない
妥当性	市民のニーズは高いか (3名) 高い (2名) ふつう (1名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (4名) 得られている (1名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (2名) 高い (3名) ふつう (1名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

維持	(1名) 拡充 (4名) 維持 (0名) 縮小 (1名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標の改善が必要。</li> <li>・目的に向けて何をし、何が起こったかを明確にできれば、より効率的に進められると思います。</li> <li>・美しい農地景観をどれだけの人が見て、感動を覚えたのか。数値化は難しいですが指標として検討してください。</li> <li>・事業方針の細部において整合性を取ることが必要と思われる。</li> </ul> <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この事業は、口蹄疫対応、緑肥、観光、キャベツ生産拡大等多様な目的を含んでいるため、農業面、観光面、環境面各方面の関連付けが求められる。</li> <li>・10年後、農地がどのようになってほしいか。「美しい農地」とはどのような農地か。目指すビジョンを明確になれば、今後何をすべきか見えてくると思います。</li> <li>・ひまわりまつりは知名度も上がってきており、観光面でも役立っているなので、続けてほしい。</li> <li>・観光関連事業として実施する方が適していると思う。</li> <li>・いずれは種子の確保等補助に頼らずに実施していくべきと考えます。</li> </ul>	

## 高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	297	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	<b>食育・地産地消推進事業</b>							
担当課(局)・係	産業振興課	産業企画係	記入者	有村 真樹				
事業期間	H26 年度 ~	H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし		
事業の内容	フードランナー、児湯農協女性部の協力を得て、「たかなべ食彩工房」等を活用した郷土料理教室やパン教室等を開催することで、地産地消を推進する。							
補助事業の有無	補助事業無し							
基本目標	大分類			中分類	施策方向			
	4-1 活力ある産業が育つまち	-		(1) 活力ある農林水産業の振興	地産地消の推進			
		-						
第五次高鍋町総合計画 (後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土づくりを基本とした農法の導入による有機農産物の生産拡大を図ります。</li> <li>●農産物加工施設を有効に利用し、特産品開発による地元農産物の消費拡大を図ります。</li> <li>●地元農産物を使用した料理の紹介や料理教室の開催による消費拡大を図ります。</li> </ul>						
	主要な成果	<p>フードランナー、児湯農協女性部等の協力を得て、「たかなべ食彩工房」等を活用した料理教室やパン教室等を開催することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旬の野菜を楽しむ料理教室</li> <li>・パン教室</li> <li>・米粉料理教室</li> <li>・そば打ち</li> <li>・冬休み料理教室</li> <li>・高鍋どれキャベツを使った料理教室</li> </ul>						
決算額	款	農林水産業費	項	農業費	目	農政企画費	細目	農政企画費
		予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算		予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算
		報酬	-	0円		原材料費	-	0円
		賃金	-	0円		公有財産購入費	-	0円
		給料	-	0円		備品購入費	-	0円
		職員手当等	-	0円		負担金補助・交付金	-	0円
		共済費	-	0円		扶助費	-	0円
		報償費	-	154,500円		貸付金	-	0円
		旅費	-	0円		補償補填・賠償金	-	0円
		公債費	-	0円		償還金利子・割引料	-	0円
		需用費	-	134,003円		投資及び出資金	-	0円
		役務費	-	0円		寄附金	-	0円
		委託料	-	0円		積立金	-	0円
		使用料・賃借料	-	0円		公課費	-	0円
		工事請負費	-	0円		繰出金	-	0円
					合計	0円	288,503円	

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
料理教室等回数	回	参加者とりまとめ及び講師依頼	回
参加人数	人	料理材料等買い出し事務	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	料理教室等回数	目標値	回			
実績値		回			22	
目標達成率		回				
参加人数	目標値	人				
	実績値	人			245	
	目標達成率	人				
	目標値					
	実績値					
	目標達成率					
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	参加者とりまとめ及び講師依頼	回	計画値			
実績値					9	
料理材料等買い出し事務	回	計画値				
		実績値			20	
			計画値			
			実績値			

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価								
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり								
	他課・他団体の事業と重複しないか	相互補完の関係にある		適切である								
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている								
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している								
	すでに目標を達成していないか	継続必要あり										
主管課(局)による評価												
この事務事業に対する考え				今後の方針								
フードランナー、児湯農協女性部等の協力を得て、「たかなべ食彩工房」を活用し地元獲れのきゃべつ等を材料とした料理教室を行っており、地産地消を推進するためにも事業の継続が必要と考える。				事業	コスト							
				維持	維持							
内部評価	判定結果		コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い層への食育・地産地消のPRを期待したい。</li> <li>食育や地産地消の意義をもっと広めることを優先的にいき、それが浸透してから事業やコストの拡充を図るべき。</li> <li>農産物加工施設管理運営事業と一体として評価すべき。</li> <li>フードランナーやJA女性部以外との町民に大きく広げた連携が必要。</li> <li>健康づくりセンターとの差別化が欲しい。</li> <li>地産・地消を町全体に広めてもらいたい。</li> <li>推進結果の検討が必要 町民に広く周知すること</li> </ul>								
	事務事業評価適合性											
	適合											
	事業	コスト										
維持	維持											
外部評価	判定結果		委員数	0 名	拡充	名	維持	名	縮小	名	廃止	名
	目的・内容	成果指標	意見提言									
	活動指標	妥当性										
	有効性	効率性										

2	食育・地産地消推進事業	担当課	産業振興課
---	-------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数

6名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (6名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (4名) なっている (1名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (5名) なっている (0名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (0名) 高い (5名) ふつう (1名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (5名) 得られている (0名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (2名) 高い (4名) ふつう (0名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

維持	(0名) 拡充 (6名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成果指標として、地産地消の進み具合を示す指標の設定が必要。</li> <li>・ 事業の目的についてもう少し詳しく記入してほしい。</li> </ul> <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10年後、高鍋町の食はどのようになってほしいかを考えてみるといいと思います。</li> <li>・ この事業は食育をメインとしたほうがよいのではないか。</li> <li>・ 高齢独身者の料理教室等、食への意識が欠けがちな人を対象とした教室を開催していただきたい。</li> <li>・ PRをもっと行い、多くの人に参加してもらい、地産地消につなげてもらいたい。</li> </ul>	

## 高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	326	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	農産物加工施設管理運営事業				
担当課(局)・係	産業振興課	農村整備係	記入者	三枝 敏郎	
事業期間	H26	年度 ~	H28	年度	事務事業評価
	評価対象	主要な成果報告	掲載あり		
事業の内容	農産物加工施設(たかなべ食彩工房)を適切に維持管理し、高鍋町産の農産物等を特産品開発拠点施設として活用を図る。				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	-	(1) 活力ある農林水産業の振興	-	地産地消の推進
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土づくりを基本とした農法の導入による有機農産物の生産拡大を図ります。</li> <li>●農産物加工施設を有効に利用し、特産品開発による地元農産物の消費拡大を図ります。</li> <li>●地元農産物を使用した料理の紹介や料理教室の開催による消費拡大を図ります。</li> </ul>
----------------	------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

主要な成果	農産物加工施設(たかなべ食彩工房)を適切に維持管理し、高鍋町産の農産物等を特産品開発拠点施設として活用を図ることを目的に設置されている。利用者数も増加しており、地元農産物を使用した料理教室が開催され地元農産物の消費拡大につながった。
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

款	農林水産業費		項	農業費		目	農村施設費		細目	交流施設費	
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分		平成25年度決算	平成26年度決算			
決算額	報酬	-	1,441,000	原材料費	-	0					
	賃金	-	0	公有財産購入費	-	0					
	給料	-	0	備品購入費	-	0					
	職員手当等	-	0	負担金補助・交付金	-	0					
	共済費	-	0	扶助費	-	0					
	報償費	-	0	貸付金	-	0					
	旅費	-	0	補償補填・賠償金	-	0					
	公債費	-	0	償還金・利子・割引料	-	0					
	需用費	-	585,983	投資及び出資金	-	0					
	役務費	-	47,039	寄附金	-	0					
	委託料	-	557,280	積立金	-	0					
	使用料・賃借料	-	67,392	公課費	-	0					
	工事請負費	-	0	繰出金	-	0					
				合計	0	2,698,694					

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
利用者数	人		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	利用者数	人	目標値			1500	
			実績値			1753	
			目標達成率			117%	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
			計画値				
			実績値				
			計画値				
実績値							
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価							
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり							
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である							
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働に向けて検討・協議中							
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している							
	すでに目標を達成していないか	継続必要あり									
主管課(局)による評価											
この事務事業に対する考え				今後の方針							
現在、利用者数は増加してきているが、形のある成果がほしい状況であり、事業としては、追加の方策が必要である。				事業	コスト						
				拡充	維持						
内部評価	判定結果	コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育、商品開発等の取組は評価できるが、今後の方向性及び財源確保・経費圧縮の検討もしてほしい。</li> <li>・今後の施設の位置付け、活用法の検討をしっかりと行い。有効活用を図る必要がある。</li> <li>・温泉施設の付帯事業として建設せざるを得なかった施設であるが、目標にあるように高鍋の特産品開発が推進されるよう施設のPRを強化し、利用促進を図ること。</li> <li>・この施設は農産物等の特産品開発拠点としているものであり、その目的に沿った事業を行ってほしい。</li> <li>・運営方法の検討が必要</li> <li>・本来の目的である「町産の農産物等を特産品開発拠点施設」としての事業展開が必要</li> </ul>								
	事務事業評価適合性										
	適合										
	事業					コスト					
	拡充	維持									
外部評価	判定結果	委員数	0 名	拡充	名	維持	名	縮小	名	廃止	名
	目的・内容	成果指標	意見提言								
	活動指標	妥当性									
	有効性	効率性									

3	農産物加工施設管理運営事業	担当課	産業振興課
---	---------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数

6名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (5名) 妥当である (1名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (3名) なっている (3名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (0名) なっている (6名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (1名) 高い (4名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (4名) 得られている (0名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (0名) 高い (2名) ふつう (4名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

維持	(0名) 拡充 (3名) 維持 (2名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果の確認方法が不明である。</li> </ul> <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育、地産地消と内容が重複しているので、協働するとよいと思います。</li> <li>・将来のビジョンを明瞭にし、それに向かって施設をどう利用するかを考えてみるとよいと思います。</li> <li>・この事業の方向性を決定することが必要である。民間のアイデアを求めたりすることも必要。</li> <li>・今後の構想や方向性を明示すべき。</li> <li>・採算がとれるような方法を模索することが必要。6次産業化の施設としての活用は難あり。</li> </ul>	

## 高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	327	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	総合交流ターミナル施設管理運営事業				
担当課(局)・係	産業振興課	農村整備係	記入者	三枝 敏郎	
事業期間	H26 年度 ~	H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告 掲載あり
事業の内容	都市と農村との交流を推進する総合交流ターミナル施設(高鍋温泉めいりんの湯)を適切に維持管理し、観光拠点施設として活用を図る。				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	4-3 観光交流のまち	-	(1) 観光交流の振興	-	観光資源の整備
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「高鍋町観光振興基本計画」を策定し、官民協働による魅力ある観光地づくりを推進します。</li> <li>●観光関係施設の適正な維持管理及び保全・整備を図ります。</li> <li>●観光客が容易に町内を移動できるよう、わかりやすい案内標識等の設置に努めます。</li> <li>●高鍋大師花守山整備事業を推進します。</li> <li>●高鍋海水浴場・キャンプ村への誘客を図ります。</li> <li>●高鍋湿原や四季彩のむらと連携し、美食温泉めいりんの湯への集客を図ります。</li> <li>●持田古墳群・高鍋大師への交通環境の充実を図るとともに、長期的展望にたった持田古墳群の整備に努めます。</li> <li>●本町の玄関口として高鍋駅舎の活用方法を検討します。</li> <li>●町内の観光資源を巡る散策マップ等の作成に努めます。</li> </ul>
----------------	------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

主要な成果	<p>施設開設から10年以上経過し、施設が老朽化している。施設の更新を行いながら、本町の観光資源として保全を行っている。平成26年度は、毎月、民間によるフリーマーケットを開催し、集客に図った。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

決算額	款	農林水産業費	項	農業費	目	農村施設費	細目	交流施設費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
	報酬	-		0 円	原材料費	-		0 円
	賃金	-		0 円	公有財産購入費	-		0 円
	給料	-		0 円	備品購入費	-		0 円
	職員手当等	-		0 円	負担金補助・交付金	-		0 円
	共済費	-		0 円	扶助費	-		0 円
	報償費	-		0 円	貸付金	-		0 円
	旅費	-		0 円	補償補填・賠償金	-		0 円
	公債費	-		0 円	償還金利子・割引料	-		0 円
	需用費	-		12,636,988 円	投資及び出資金	-		0 円
	役務費	-		231,612 円	寄附金	-		0 円
	委託料	-		6,281,280 円	積立金	-		0 円
	使用料・賃借料	-		0 円	公課費	-		0 円
	工事請負費	-		0 円	繰出金	-		0 円
					合計	0 円		19,149,880 円



◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
温泉水の安全確保	回	施設確認	
		修繕	

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	温泉水の安全確保	回	目標値			2	
			実績値			2	
			目標達成率			100%	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	施設確認		計画値			3	
			実績値			3	
	修繕		計画値				
実績値							
			計画値				
			実績値				

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価							
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり							
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である							
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている							
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している							
	すでに目標を達成していないか	継続必要あり									
主管課(局)による評価											
この事務事業に対する考え				今後の方針							
高鍋町の観光資源として、温泉の存続は重要である。				事業	コスト						
				維持	拡充						
内部評価	判定結果	・修繕など必要経費に限り拡充だが、経営戦略を専門家に依頼するなど中長期的な立て直しの検討しても良いのかもしれない。 ・施設の経年により費用が高んでいくのは仕方がない。年次的・計画的な施設管理のための方針を固めつつ、今後も柔軟な対応を行う必要があるのではないか。 ・施設が町内観光拠点の中核のひとつであることを考慮すると、一定の予算の投下が求められる。 ・現状で投入費用が少ないので、コスト拡充かもしれないが、施設改修に関しては、設備も含めた更新計画を早急に作成し、収支改善目標も作成すること。 ・運営委員会を通して経営状況の確認と取締役を意識付けさせる必要を感じる。  施設の維持管理に対しては、当然しなければならないことであり計画的にすること。 計画的な管理運営が必要 事故防止等の観点からも適正な維持管理は必要となる。同時に維持コストについての精査も必要。									
	事務事業評価適合性										
	適合										
	事業				コスト						
	維持	維持									
外部評価	判定結果	委員数	0 名	拡充	名	維持	名	縮小	名	廃止	名
	目的・内容	成果指標	意見提言								
	活動指標	妥当性									
	有効性	効率性									

4	総合交流ターミナル施設管理運営事業	担当課	産業振興課
---	-------------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数

6名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (5名) 妥当である (1名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (1名) なっている (5名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (2名) なっている (4名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (2名) 高い (4名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (3名) 得られている (2名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (0名) 高い (5名) ふつう (0名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

維持	(0名) 拡充 (5名) 維持 (1名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「成果指標」に挙げられているものは「活動指標」とすべき指標である。</li> <li>・目的はある程度明確だったと思うが、何をして何が得られたかを整理できると、より効率的になると思う。</li> </ul> <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集客利用拡大について、改善策を常時検討し、魅力ある施設としての運営を期待する。</li> <li>・施設の維持修繕の長期計画が必要と思われる。</li> <li>・めいりんの湯の採算がとれるように助言、指導していただきたい。</li> <li>・10年後のめいりんの湯の姿について、セクションを超えて多くの人と対話してもらいたい。</li> <li>・高鍋湿原、温泉、四季彩のむらをリンクさせ、「面」で考えた観光施策を検討していただきたい。</li> <li>・指定管理者の運営状況についての情報がほしい。温泉自体は可能性があると思うので、加工施設とともに方向性を定めて継続して行ってほしい。</li> <li>・施設が外見上古いイメージがある。見た目もきれいな施設が提供できるようになってほしい。</li> </ul>	

### 高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	45	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	—
--------	----	--------	----	------------	---

事務事業名	都市下水路事業				
担当課(局)・係	上下水道課	下水道係	記入者	芥田賢治	
事業期間	H26 年度 ~	H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告 掲載なし
事業の内容	市街地の生活環境改善のため、区域内の都市下水路の草刈り浚渫等の維持管理を行う。 【浚渫(しゅんせつ)・・・下水路にたまった土砂などを撤去すること】				

補助事業の有無	補助事業無し
---------	--------

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	2-2 生活を支える基盤が整っているまち	(4) 下水道の整備	公共下水道の整備と水洗化率の向上

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共下水道については、居住環境の向上と公共用水域の水質保全を目指して今後も普及促進を図り、接続率の向上に向けた取り組みを進めます。</li> <li>●効率的な生活排水処理を実現するため、公共下水道事業全体計画の見直しを行います。</li> <li>●公共下水道事業計画区域内においては、計画的な雨水排水対策に努めます。</li> </ul>
	主要な成果	都市下水路を定期的に適切に浚渫し管理することにより、雨水排水対策が出来ている。

決算額	土木費		都市計画費		都市下水路費		都市下水路管理費	
	款	項	目	細目	目	細目	目	細目
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算		
	報酬	— 円	0 円	原材料費	— 円	0 円		
	賃金	— 円	81,250 円	公有財産購入費	— 円	0 円		
	給料	— 円	0 円	備品購入費	— 円	0 円		
	職員手当等	— 円	0 円	負担金補助・交付金	— 円	0 円		
	共済費	— 円	0 円	扶助費	— 円	0 円		
	報償費	— 円	0 円	貸付金	— 円	0 円		
	旅費	— 円	0 円	補償補填・賠償金	— 円	149,739 円		
	公債費	— 円	0 円	償還金・利息・割引料	— 円	0 円		
	需用費	— 円	0 円	投資及び出資金	— 円	0 円		
	役務費	— 円	0 円	寄附金	— 円	0 円		
	委託料	— 円	615,600 円	積立金	— 円	0 円		
	使用料・賃借料	— 円	99,900 円	公課費	— 円	0 円		
	工事請負費	— 円	6,755,400 円	繰出金	— 円	0 円		
				合計	0 円	7,701,889 円		

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
浸水家屋	戸	浚渫延長	m

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	浸水家屋	戸	目標値			0	H26年6月4日の大雨で床上浸水6戸の被害があったが、ゲリラ豪雨によるもので都市下水路の浚渫の管理に起因するものではなかった。
			実績値			6	
			目標達成率			#DIV/0!	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	浚渫延長	m	計画値				
			実績値				
			計画値				
実績値							
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価							
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり							
	他課・他団体の事業と重複しないか	相互補完の関係にある		適切である							
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難							
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している							
	すでに目標を達成していないか	継続必要あり									
主管課(局)による評価											
この事務事業に対する考え				今後の方針							
予算の範囲内で、定期的に都市下水路を浚渫し管理することにより雨水排水対策を行っているが、すべてを管理できているわけではなくさらに広範囲に浚渫が必要である。				事業	コスト						
				拡充	拡充						
内部評価	判定結果	コメント ・防災面・景観・衛生的な面からも拡充はやむを得ないか。 ・雨水対策のためには事業規模、コストともに拡充すべき(ただし年次的な整備とし、単年度で経費が嵩むことのないように)。 ・高温時期は臭いも立ちやすく、いくら浚渫しても足りることは無いと思うが、汚泥が堆積する前に計画的に対応できるよう努めてほしい。 ・予算的には、増額要望は幾ら位か。 ・計画的に事業実施を。 ・年次計画で、整備していくこと ・維持管理増加は止む無し									
	事務事業評価適合性										
	適合										
	事業		コスト								
	維持	維持									
外部評価	判定結果	委員数	0 名	拡充	名	維持	名	縮小	名	廃止	名
	目的・内容	成果指標									
	活動指標	妥当性									
	有効性	効率性									

5	都市下水道事業	担当課	上下水道課
---	---------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数

7名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (7名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (6名) なっている (1名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (4名) なっている (3名) なっていない
妥当性	市民のニーズは高いか (6名) 高い (1名) 普通 (0名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (7名) 得られている (2名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (2名) 高い (4名) 普通 (1名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

拡充	(5名) 拡充 (2名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動指標の計画値を定めて、計画的に事業を進めてほしい。</li> <li>・活動指標の数値が欲しかった。</li> <li>・決算額、成果指標、活動指標等の記述がなく評価が難しかった。主要な成果は、課題等を合わせて記述するべき。</li> <li>・主要な成果を客観的に記入してほしい。各指標の具体的な設定が必要。</li> </ul> <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水被害を出さない気持ちで頑張ってもらいたい。</li> <li>・浸水被害が出ないように続けてもらいたい。予算がもっとついて、浚渫延長を確保できるとよい。</li> <li>・公共下水道、農村集落排水を含めた全体の下水道対策の方向性を検討してはどうか。</li> <li>・将来、全ての家庭に下水道をつなぐというビジョンが明確となったので、そのためにはどうすればいいかという新しい問が生まれます。望ましい未来から逆算して現在の課題を考えていくといいと思います。</li> <li>・他課との連携を密にして長期計画を立案し、事業を進めていただきたい。重要な事業だと考える。</li> <li>・これからゲリラ豪雨等が増えていくと思うので、その対策として整備に力を入れてもらいたい。</li> </ul>	

## 高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	416	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	高鍋湿原管理運営事業				
担当課(局)・係	社会教育課	文化係	記入者	松行 弘晃	
事業期間	H26	年度 ~	H28	年度	事務事業評価
	評価対象	主要な成果報告	掲載あり		
事業の内容	貴重な動植物が生息する高鍋湿原の自然環境を保全し、その活用を図るための管理運営を行う。				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	2-1 自然環境や景観を大切にす ま	4 環境保護の推進	自然保護活動の充実
	4-3 観光交流のまち	1 観光交流の振興	観光資源の整備

- 第五次高鍋町総合計画（後期）**
- 基本方針**
- 学校や地域の活動における自然環境教育・学習の充実に努めます。
  - 国や県と一体となって、貴重な動植物の生息・生育地を保護し、自然とふれあうことができる場の整備を進めます。
  - 県指定天然記念物であるアカウミガメをはじめ、県のレッドデータブックに記載されているような、希少な動植物の保護・調査に努めます。
  - 高鍋湿原やアカウミガメの保護活動に携わる人材育成を推進します。
  - 海岸漂着物を関係機関と連携して処理し、海岸における自然環境を保全します。
  - 「高鍋町観光振興基本計画」を策定し、官民協働による魅力ある観光地づくりを推進します。
  - 観光関係施設の適正な維持管理及び保全・整備を図ります。
  - 観光客が容易に町内を移動できるよう、わかりやすい案内標識等の設置に努めます。
  - 高鍋大師花守山整備事業を推進します。
  - 高鍋海水浴場・キャンプ村への誘客を図ります。
  - 高鍋湿原や四季彩のむらと連携し、美食温泉めいりんの湯への集客を図ります。
  - 持田古墳群・高鍋大師への交通環境の充実を図るとともに、長期的展望にたった持田古墳群の整備に努めます。
  - 本町の玄関口として高鍋駅舎の活用方法を検討します。

**主要な成果**

高鍋湿原ボランティアの協力により、保護活動及び観察ガイドが実施された。年間を通しての維持・管理を行い湿原の形態と動植物が良好に保存できた。また、湿原の一般公開により町内外から多くの来訪者があり、自然保護の大切さを啓発することができた。

款	教育費		項	社会教育費		目	生涯学習推進費		細目	高鍋湿原費	
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分		平成25年度決算	平成26年度決算			
決算額	報酬	-	0	原材料費	-	0					
	賃金	-	0	公有財産購入費	-	0					
	給料	-	0	備品購入費	-	102,384					
	職員手当等	-	0	負担金補助・交付金	-	0					
	共済費	-	0	扶助費	-	0					
	報償費	-	343,640	貸付金	-	0					
	旅費	-	132,500	補償補填・賠償金	-	0					
	公債費	-	0	償還金・利息・割引料	-	0					
	需用費	-	608,822	投資及び出資金	-	0					
	役務費	-	21,790	寄附金	-	0					
	委託料	-	250,560	積立金	-	0					
	使用料・賃借料	-	6,376	公課費	-	0					
	工事請負費	-	0	繰出金	-	0					
				合計	0	1,466,072					

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
湿原の環境維持	状態率	湿原除草・清掃作業	日
湿原の一般公開	日	観察ガイド活動	回
来場記入者数	人		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	湿原の環境維持	状態率	目標値		100	100	100
実績値				95	95	95	
目標達成率				95%	95%	95%	
湿原の一般公開	日	目標値		220	220	220	湿原を一般公開し、希少な植物や昆虫類等についての観察の機会を提供する
		実績値		212	219	215	
		目標達成率		96%	100%	98%	
来場記入者数	人	目標値		4200	4200	4200	来場アンケートへの記入者数(来場者数のうち記入者数は、約3割程と推測)26年度は土日の台風や雨が多かったため、前年度より入場者が減少。
		実績値		5258	6098	5465	
		目標達成率		125%	145%	130%	
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	湿原除草・清掃作業	日	計画値	230	230	190	24年度より2名の嘱託員を雇用し、年間を通じての維持・管理を行い良好な状態で保全することが出
実績値			230	192	196		
観察ガイド活動	回	計画値	30	30	30	湿原ガイド養成講座を実施して、後継者育成と同時に来場者の案内を実施することが出来た。	
		実績値	17	24	25		
			計画値				
			実績値				

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価	
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		事業従事人員は適切か	適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている	
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している	
	すでに目標を達成していないか	継続でさらに効果あり			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
		事業	コスト
県の重要生息地に指定されるほどの貴重な動植物が多くみられる湿原であり、町が保護活動の主体となるべきである。また、後世に残していくために、通年にわたる維持管理が必要である。町内外から多くの来訪者があり、自然に触れ合う場としても重要な事業である。		維持	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・現状でも適正な維持管理ができていることから評価は維持としているが、高鍋湿原は本町の自然環境を象徴する場所であり観光スポットのひとつでもある。積極的な事業展開ができるのであれば拡充でもよいのではないかと考えられる。  
 ・湿原の維持をしていくにはボランティアの協力が必要なので、ボランティアの育成にも全力で取り組んで貰いたい。  
 ・継続して行うこと。

外部評価	判定結果		委員数								
	目的・内容	成果指標	0名	拡充	名	維持	名	縮小	名	廃止	名
	活動指標	妥当性	意見提言								
	有効性	効率性									

6	高鍋湿原管理運営事業	担当課	社会教育課
---	------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数 7名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (7名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (7名) なっている (0名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (7名) なっている (0名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (3名) 高い (4名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (7名) 得られている (0名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (4名) 高い (3名) ふつう (0名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

維持	(0名) 拡充 (7名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湿原の環境維持を表す指標の設定は難しい。</li> <li>・補足資料もあり、担当課の説明もよく理解できた。</li> <li>・基本計画に沿って事業が実施されている。来場者数の確認方法を工夫してほしい。担当者は時々湿原に足を運び、成果を確認してほしい。</li> </ul> <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境を保全しながら運営していただきたい。</li> <li>・何年後でもハッチョウトンボが見られるようによろしくお願いします。</li> <li>・書籍の販売収入を事業費に充当することで、事業費に加算できるのではないか。</li> <li>・子どもたちの社会見学で湿原に行き、とても勉強になったようだ。</li> <li>・5年後の高鍋湿原の姿について、担当、職員、ボランティア等の方々と対話してはどうか。</li> </ul>	



評価表

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	27	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	----	--------	----	------------	---

事務事業名	乳幼児医療費助成事業				
担当課(局)・係	福祉課	子ども支援係	記入者	北川 茂麗	
事業期間	H26 年度 ~	H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告 掲載あり
事業の内容	乳幼児期における疾病等の治療を容易にし、乳幼児の福祉の向上と健全な発育の促進を図るため、就学前(6歳に達する日以降の最初の3月31日まで)の乳幼児に対し、一診療報酬明細あたり350円の自己負担を控除した額を助成する。				

補助事業の有無	補助事業無し
---------	--------

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	3-1 人にやさしいまち	(1) 子育て支援の充実	子育て中の家庭への支援体制の整備

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童手当や乳幼児医療費助成などによる子育て家庭の経済的な負担軽減を図ります。</li> <li>●乳児家庭訪問などのきめ細かいサービスを通して、育児相談や子育て支援情報の提供を行い、子育て家庭の不安軽減を図ります。</li> <li>●妊産婦、乳幼児の健康増進を図るため、妊婦及び乳幼児健診等を実施します。また、年齢に応じた保健指導を充実し、健やかな子育てを支援します。</li> </ul>
	主要な成果	<p>乳幼児期における疾病等の治療を容易にし健全な発育の促進を図ることができた。</p> <p>【県・町の自己負担基準(平成26年度)】</p> <p>○県基準 入院は1診療報酬明細書につき350円、入院外は3歳未満は1診療報酬明細書につき350円、3歳以上小学校入学前までは1診療報酬明細書につき800円 調剤は入院外に含まれる</p> <p>○町基準 小学校入学前の1診療報酬明細書につき一律350円 調剤は自己負担なし</p>

決算額	款	民生費	項	児童福祉費	目	母子福祉費	細目	母子福祉費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
	報酬	— 円		0 円	原材料費	— 円		0 円
	賃金	— 円		0 円	公有財産購入費	— 円		0 円
	給料	— 円		0 円	備品購入費	— 円		0 円
	職員手当等	— 円		0 円	負担金補助・交付金	— 円		0 円
	共済費	— 円		0 円	扶助費	— 円		31,393,960 円
	報償費	— 円		0 円	貸付金	— 円		0 円
	旅費	— 円		0 円	補償補填・賠償金	— 円		0 円
	公債費	— 円		0 円	償還金・利息・割引料	— 円		0 円
	需用費	— 円		0 円	投資及び出資金	— 円		0 円
	役務費	— 円		1,604,200 円	寄附金	— 円		0 円
	委託料	— 円		0 円	積立金	— 円		0 円
	使用料・賃借料	— 円		0 円	公課費	— 円		0 円
	工事請負費	— 円		0 円	繰出金	— 円		0 円
				合計	0 円		32,998,160 円	

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
町負担金	円	助成件数(現物給付)	人
県負担金	円	助成件数(申請払い)	人
受給者数	人	高額医療費戻入件数	件

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	町負担金	円	目標値			19,143,000
実績値			18,250,717	14,772,941	18,483,160	
目標達成率					97%	
県負担金	円	目標値			17,667,000	対象医療費に対し、一律の負担(県の基準額に応じた負担)
		実績値	15,163,000	16,566,000	14,515,000	
		目標達成率			82%	
受給者数	人	目標値			1,400	対象医療費に対し、一律助成
		実績値	1,329	1,379	1,340	
		目標達成率			96%	
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	助成件数(現物給付)	人	計画値			
実績値			18,715	17,302	18,206	
助成件数(申請払い)	人	計画値				対象医療費に対し、一律助成
		実績値	81	210	98	
高額医療費戻入件数	件	計画値				健康保険法に基づく戻入
		実績値	15	15	4	

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか	継続必要あり		

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
		事業	コスト
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育ての負担軽減に大きく貢献している。</li> <li>少子化対策の一環として重要な事業である。</li> <li>町が負担する医療費助成、審査支払手数料に対して県補助がある。</li> <li>県内の状況を鑑みると、対象年齢の拡充等の検討が必要である。</li> <li>平成27年10月より、対象年齢を小学校卒業までに拡充する(小学生に係る自己負担:1,000円/1診療報酬明細)。</li> </ul>		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・条例に基づき拡充  
 ・長年の懸案事項でようやく実施となったが、周りの市町村は当町以上に助成範囲を拡大しているので、要求はまだだあると思われる。一方で、町長が言うとおり幼児段階から身体を鍛えて元気な子供を育てる方策に力を入れる必要があると考える。  
 ・27年度対象者拡充。さらなる拡充については、近隣市町村の事業内容から要検討。  
 ・周辺町が実施しているから拡充では安易。

外部評価	判定結果		委員数								
	目的・内容	成果指標	0名	拡充	名	維持	名	縮小	名	廃止	名
	活動指標	妥当性	意見提言								
	有効性	効率性									

7	乳幼児医療費助成事業	担当課	福祉課
---	------------	-----	-----

◎評価表記載内容の判定

回答人数 7名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (6名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (0名) なっている (6名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (0名) なっている (6名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (6名) 高い (1名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (5名) 得られている (1名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (1名) 高い (5名) ふつう (1名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

維持	(2名) 拡充 (4名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標と活動指標は逆の方がいいのではないか。</li> <li>・少子化という数値にしにくい指標だと思うが、なるべくわかりやすい指標を設定していただきたい。</li> <li>・評価表の指標設定が分かりにくい。</li> </ul> <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の財政を考慮しながら助成事業をしていただきたい。対象を小学生まで広げるのはよいが、助成件数を減らす努力も必要。</li> <li>・対象年齢を広げるのでコストも大きくなるが、自己負担額の見直し等町負担を減らすことも必要だと思う。</li> <li>・少子化対策、子育てしやすいまちづくりという目的のもとに、町の将来像を構築することが大切と思う。人口の定着、将来の税収増につながるのであれば意味がある。少子化対策は福祉だけでなく、教育も重要であり、また雇用の確保など、総合性が必要だが、福祉面で前進するのは意味がある。</li> <li>・世代によっても考え方の異なる問題なので、子育て世代以外の方も交えて対話すると思う。地域の潜在能力を掘りおこすことで、行政の負担が軽減される可能性もある。未来ある子どもたちのために取り組んでほしい。</li> <li>・国、県の施策をふまえ、町の独自性のある事業として工夫してほしい。</li> <li>・子育て世代としては医療費負担が軽減されることはうれしいことだが、それ以外でも子どもや子育てをする親が喜ぶことがあるといい。</li> </ul>	

## 高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	476	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名		民生委員児童委員協議会運営支援事業											
担当課(局)・係		福祉課	地域福祉係		記入者		阿萬 純江						
事業期間		H26	年度	~	H28	年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし			
事業の内容		地域住民の相談窓口として様々な事案に対応する民生委員・児童委員の個別活動、連携強化や識見向上の取組みを支援するため、民生委員児童委員協議会に対し助成を行う。											
補助事業の有無		補助事業有り		※別紙附表を作成してください									
基本目標	大分類		中分類			施策方向							
	3-1 人にやさしいまち		(4) 地域福祉活動の推進			地域福祉活動の推進							
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域福祉に対する理解と意識の高揚を図るため、研修会の開催や広報を通じて啓発活動を推進します。</li> <li>●地域に密着した福祉活動の推進を図るため、社会福祉協議会機能の充実強化に向けた取り組みを支援します。</li> <li>●地域福祉の充実のため、民生委員・児童委員や地区公民館などの連携強化を図り、誰もが地域で安心して生活できる体制づくりに努めます。</li> </ul>												
主要な成果	民生委員・児童委員の献身的な活動を支えるとともに、定例会や研修会を通して知識・技術・人格の向上を図ることで、地域住民の様々な悩み・問題等に対して助言・援助を行い支援することができた。												
決算額	款	民生費		項	社会福祉費			目	社会福祉総務費		細目	社会福祉総務費	
		予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算			予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算		
		報酬		— 円	0 円			原材料費		— 円	0 円		
		賃金		— 円	0 円			公有財産購入費		— 円	0 円		
		給料		— 円	0 円			備品購入費		— 円	0 円		
		職員手当等		— 円	0 円			負担金補助・交付金		— 円	4,612,000 円		
		共済費		— 円	0 円			扶助費		— 円	0 円		
		報償費		— 円	0 円			貸付金		— 円	0 円		
		旅費		— 円	0 円			補償補填・賠償金		— 円	0 円		
		公債費		— 円	0 円			償還金利子・割引料		— 円	0 円		
		需用費		— 円	86,703 円			投資及び出資金		— 円	0 円		
		役務費		— 円	0 円			寄附金		— 円	0 円		
		委託料		— 円	0 円			積立金		— 円	0 円		
		使用料・賃借料		— 円	130,000 円			公課費		— 円	0 円		
		工事請負費		— 円	0 円			繰出金		— 円	0 円		
							合計		0 円	4,828,703 円			

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
調査・実態把握件数	件	活動延日数	日
相談・支援件数	件	訪問延回数	回
研修会等回数	回	研修会等参加延人数	人

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	調査・実態把握件数	件	目標値		3414	3353	3400
実績値				3414	3353	3450	
目標達成率				100%	100%	101%	
相談・支援件数	件	目標値		2817	2737	2800	高齢者に関すること:844件 障害者に関すること:86件 子供に関すること:907件 その他:477件
		実績値		2817	2737	2314	
		目標達成率		100%	100%	83%	
研修会等回数	回	目標値		32	37	35	
		実績値		32	37	30	
		目標達成率		100%	100%	86%	
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	活動延日数	日	計画値	6500	6500	6500	
実績値			6494	6423	6319		
訪問延回数	回	計画値	6000	6000	6000		
		実績値	6967	5951	6046		
研修会等参加延人数	人	計画値	850	850	850		
		実績値	769	837	878		

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか	継続必要あり		

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
地域における民生委員児童委員の役割は大きなものがある。今後、生活困窮者や災害時要支援者等の増加に伴い、民生委員がその役割を最大限発揮できるように環境整備を進め、町財政では対応できないきめ細やかな地域福祉ニーズにより一層対応していく必要がある。補助としては報酬ではなく活動費への援助であり、今後も継続を要すると考える。	事業	コスト	
	拡充	拡充	

内部評価	判定結果		コメント ・事業の性質上事業は維持。コストも拡充する狙いがよく分からない。 ・委員のなり手も少ない状況であり、業務に見合う支援もある程度必要と思われる ・26年度補助金を増額しているということなので、経過をみて維持。 ・年次的な、改善が必要
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

外部評価	判定結果		委員数				
	目的・内容	成果指標	0 名	拡充 名	維持 名	縮小 名	廃止 名
	活動指標	妥当性	意見提言				
	有効性	効率性					

8	民生委員児童委員協議会運営支援事業	担当課	福祉課
---	-------------------	-----	-----

◎評価表記載内容の判定

回答人数 7名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (7名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (5名) なっている (2名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (5名) なっている (2名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (2名) 高い (4名) ふつう (1名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (5名) 得られている (2名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (3名) 高い (3名) ふつう (1名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

拡充	(4名) 拡充 (2名) 維持 (1名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠を分かりやすく、説得力のあるように書くとより良くなると思います。</li> </ul> <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員になるのは大変だと思う。周りの人たちもできることがあれば手助けできるといいと思う。</li> <li>・多忙の中で活動されているので、待遇の改善が必要。</li> <li>・住民の悩みや問題の内容も難しくなっていて、研修も必要だと思うので、拡充と思います。</li> <li>・10年後、カッコイイ民生委員の姿を模索してみてください。お金以上の効果があるかもしれません。</li> <li>・委員の役割や活動に対する報酬としての助成はできないか。期待される民生委員の確立を望みます。</li> <li>・生活困窮者や災害支援のニーズが高まっているように思うので、拡充する方向で対応してもらいたい。</li> </ul>	

## 高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	89	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	対象
--------	----	--------	----	------------	----

事務事業名	プール運営事業					
担当課(局)・係	健康保険課	健康推進係	記入者	上杉 悦子		
事業期間	H26 年度 ~	H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	プール等を利用した子どもから大人まで心身の健康づくりを推進する。 ①プールの安全な管理運営を行う。 ②水中運動普及員の研修会を行い、プール運動効果についての普及活動につなげる。委託先や普及員と連携し、無料開放イベントの開催や各種教室の充実を図り、継続利用へつなげる。					

補助事業の有無	補助事業無し
---------	--------

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	3-2 健康に暮らせるまち	(1) 生涯にわたる心身の健康づくり	健康づくりの推進

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活習慣病の予防のため、町民の誰もが手軽に実践できる運動や健康教室等を実施し、町内全域に定着させます。</li> <li>●健康づくりセンター内プールを活用した健康づくりに努めます。</li> <li>●小児から高齢者まで一貫した健康づくり体制が重要であるため、幼少期から食事や運動をはじめとする生活習慣づくりの推進を図ります。</li> </ul>
----------------	------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

主要な成果	<p>&lt;利用者の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○総数：34,259人（町内：26,698人 町外：7,561人）</li> <li>○1日平均利用者数：115人</li> <li>○年代別（10代以下）：5,673人（20代）：518人（30代）：1,483人（40代）：1,670人（50代）：3,051人（60代）：13,969人（70代以上）：7,895人</li> <li>○教室（水中運動）：968人（水泳教室）：1,564人（フロア運動）：339人（子供水泳教室）：3,945人（幼児1,585人、小学生2,360人）</li> <li>○無料開放時のプール利用者：146人（うち新規4人）</li> </ul> <p>&lt;プール利用者アンケート結果（延人数）&gt; 対象者：フリーパス券利用者80人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間ができた(37) ・体重が減った(31) ・体が引き締まった(29) ・生活リズムができた(27)</li> <li>・ストレス解消(25) ・関節痛の改善(23) ・食事がおいしく感じる(18) ・眠れるようになった(16)</li> <li>・気持ちが明るくなった(16) ・血圧が下がった(12) ・血液データの改善(12)</li> <li>・病院・整骨院の受診回数が減った(11)</li> </ul> <p style="text-align: center;">プールやフロアでの運動の実施により、疾病の予防や生活習慣等の改善や健康増進を図ることができた。</p>
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

決算額	款	衛生費	項	保健衛生費	目	健康づくりセンター費	細目	健康づくりセンター費		
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算		予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	
	報酬		— 円		0 円	原材料費		— 円		0 円
	賃金		— 円		0 円	公有財産購入費		— 円		0 円
	給料		— 円		0 円	備品購入費		— 円		0 円
	職員手当等		— 円		0 円	負担金補助・交付金		— 円		0 円
	共済費		— 円		0 円	扶助費		— 円		0 円
	報償費		— 円		15,000 円	貸付金		— 円		0 円
	旅費		— 円		0 円	補償補填・賠償金		— 円		0 円
	公債費		— 円		0 円	償還金・利息・割引料		— 円		0 円
	需用費		— 円		11,148,659 円	投資及び出資金		— 円		0 円
	役務費		— 円		315,144 円	寄附金		— 円		0 円
	委託料		— 円		17,431,200 円	積立金		— 円		0 円
	使用料・賃借料		— 円		54,000 円	公課費		— 円		0 円
	工事請負費		— 円		0 円	繰出金		— 円		0 円
						合計		0 円		28,964,003 円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
利用者数(延)	人	無料開放プールイベント	回
利用者数(実){大人・小人}	人	水中運動普及員研修	回
<アンケート調査結果>心身の健康状態の改善	%	事故件数	件

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	利用者数(延)		人	目標値	30,000	30,000	35,000
実績値				29,442	33,488	34,259	
目標達成率				98%	112%	98%	
利用者数(実){大人・小人}		人	目標値			470	フリーパス券250人、子供水泳教室378人
			実績値		450	628	
			目標達成率			134%	
<アンケート調査結果>心身の健康状態の改善		%	目標値			95	
			実績値		92.7	97.5	
			目標達成率			103%	
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	b	特記事項
	無料開放プールイベント	回	計画値	1	1	1	プール利用者146人(新規4人)
実績値			1	1	1		
水中運動普及員研修	回	計画値	5	6	5		
		実績値	6	6	5		
事故件数	件	計画値	0	0	0		
		実績値	0	0	0		

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか	継続でさらに効果あり		
主管課(局)による評価				
この事務事業に対する考え				今後の方針
町民の健康に大きく役立てる施設として設置された経緯もあり、健康づくりセンター本体と併せて、町民の健康づくりの拠点である。1日平均100人程度の利用者があるものの、利用者が60代・70代の常連の方が多い。今後は、さらに利用者の増やし、収益を上げるため、プールのPR及び教室等の拡充を図る必要がある。				事業
				コスト
				拡充
				維持

内部評価	判定結果		コメント				
	事務事業評価適合性						
	適合						
	事業	コスト					
拡充		維持					
外部評価	判定結果		委員数 0名	拡充 名	維持 名	縮小 名	廃止 名
	目的・内容	成果指標					
	活動指標	妥当性					
	有効性	効率性					



9	プール運営事業	担当課	健康保険課
---	---------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数

7名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (7名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (6名) なっている (1名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (6名) なっている (1名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (3名) 高い (4名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (7名) 得られている (0名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (2名) 高い (4名) ふつう (1名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

維持	(1名) 拡充 (6名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標、目的を明確化した上で指標を設定するといいいと思います。</li> <li>・ 成果指標(健康状態の改善)をもっとわかりやすい指標にするべき。</li> <li>・ 事業の目的に照らして、健康増進を図ることを第一とした評価としてほしい。</li> </ul> <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10年度、みんなが楽しめるプールの姿を対話してみてください。そこから逆算していくと、現在取り組むべきことが見えてくると思います。</li> <li>・ 若年層の利用促進を進めて、世代を超えた健康づくりを推進していただきたい。</li> <li>・ 施設整備の長期計画を立てることが必要。</li> <li>・ お知らせかなべとは別に、プールでのイベント等をチラシPRしてもいいと思います。</li> <li>・ 安全確保をしながら、町民の健康のためにも続けていただきたい事業だと思います。</li> </ul>	

## 高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号		記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	--	--------	----	------------	---

事務事業名	商店街にぎわい創生事業				
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人	
事業期間	H26 年度 ~	H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告 掲載あり
事業の内容	商店街のにぎわいを創出するため、商店街等が実施する創意工夫をこらした取り組みに対し補助金を交付する。 【近年の補助事業実績】①タヤけ市 ②あかりプロジェクト ③たかなべまちのゼミ ④防犯カメラ設置等				

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください
---------	--------	----------------

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	(2) 商工業の振興	商店街の活性化
	-	-	-

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●城下町高鍋らしい魅力ある商店街づくりを促進するための支援を行います。</li> <li>●商店街の空き店舗対策やイベント等への支援を行います。</li> </ul>
----------------	------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

主要な成果	<p>本事業により、城下町高鍋らしい商店街の景観整備、交流人口の増加を目的とした各種イベントの開催に対する支援が行われた。また、平成26年度は新たに防災・防犯機能を強化を図る取り組みが行われた。</p> <p>商店街の景観整備として、平成26年度は新たに6基のあかりオブジェが作成され、町内商店街の店舗に設置されることとなった。また、あかりオブジェの制作は「町の人の目に触れる場所で行いたい」との意向から、舞鶴公園にて公開で行われた。あかりオブジェの設置総数は36基となり、「歩いて楽しめる商店街」の景観形成に向けての前進となった。</p> <p>交流人口の増加を目的としたイベントとして、高鍋町商工会議所連合会の主催するタヤけ市のほか、個店の魅力をアピールする「たかなべまちのゼミ」が開催された。また、新たな取り組みとして、高鍋町まちなか商業活性化協議会が主催する「高鍋町商店街歳末大感謝祭」が開催され、抽選会当日はもちろんのこと、抽選券配布期間中も多くの人が商店街を訪れることとなった。</p> <p>また、商店街の防災・防犯機能の強化を目的として、本町一番街商店街の3店舗に防犯カメラが設置され、併せて商店街出店者向けの防犯学習会が開催された。</p>
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

決算額	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	細目	商工業振興費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
	報酬	-		0	原材料費	-		0
	賃金	-		0	公有財産購入費	-		0
	給料	-		0	備品購入費	-		0
	職員手当等	-		0	負担金補助・交付金	-		1,205,000
	共済費	-		0	扶助費	-		0
	報償費	-		0	貸付金	-		0
	旅費	-		0	補償補填・賠償金	-		0
	公債費	-		0	償還金・利息・割引料	-		0
	需用費	-		0	投資及び出資金	-		0
	役務費	-		0	寄附金	-		0
	委託料	-		0	積立金	-		0
	使用料・賃借料	-		0	公課費	-		0
	工事請負費	-		0	繰出金	-		0
					合計	0		1,205,000

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
あかりオブジェ設置数(累計)	基	夕やけ市開催回数	回
商店街における交通量(人)	人	まちゼミ講座数	講座
まちゼミ受講者数	人	あかりオブジェ制作作家誘致数(累計)	人

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	成果指標	あかりオブジェ設置数(累計)	基	目標値	50	50	35
実績値				25	30	36	
目標達成率				50%	60%	103%	
商店街における交通量(人)		人	目標値	500	500	300	平成24年度は10月14～15日、平成25年度は9月8～9日にそれぞれ実施。平成26年度における交通量調査は未実施である。
			実績値	168	181		
			目標達成率	34%	36%	0%	
まちゼミ受講者数		人	目標値	300	300	200	各種メディアで取り上げられたこともあり、平成25年度の受講者数から微増した。今後も町内外へのPRを続けるとともに、各講座の磨き上げも必要である。
			実績値	147	123	112	
			目標達成率	49%	41%	56%	
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	夕やけ市開催回数	回	計画値	1	1	1	平成26年度の開催により、累計回数が40回となった。各商店街独自の取り組みもあり、3000人を超え
			実績値	1	1	1	
	まちゼミ講座数	講座	計画値	20	30	30	お客様に個店の特徴と魅力を知っていただくとともに、既存客の定着化、新規客の獲得とリピーターの確
			実績値	16	20	20	
	あかりオブジェ制作作家誘致数(累計)	人	計画値				
			実績値	25	30	35	

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価							
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり							
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		過少である							
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は可能							
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している							
	すでに目標を達成していないか	継続でさらに効果あり									
主管課(局)による評価											
この事務事業に対する考え				今後の方針							
<p>当事業により、町及び商店街の魅力が町内外にアピールし、交流人口の増加に一定の効果上げることができている。平成25年度に「がんばる商店街30選」に「高鍋町まちなか商業活性化協議会」が選定されて以降、県内はもちろんのこと、県外からの視察・研修を数多く受け入れており、11月に開催された「商店街フォーラムin九州」では「高鍋町まちなか商業活性化協議会」会長の小澤氏が事例発表を行うなど、町外からの注目度も高まっており、今後はこれまで実施してきた事業の継続に加え、その拡充と新たな取り組みが不可欠となる。本事業の継続と併せて、国・県・町の補助事業を組み合わせ、支援を実施していくことが必要である。</p>				事業	コスト						
				拡充	拡充						
内部評価	判定結果	<p>・新たな取り組み内容の具体的な提示がなされないとコスト拡充は厳しいのではないかと、交通量を成果指標としているが、都市圏の商業地域ならやる意義もあるが、現在の商店街でその結果を求めるのは酷な気がする。</p> <p>・商店街の活性化は自治体の喫緊の課題であり、まち全体の活性化につながるものである。</p> <p>・事業を拡大し、経営者や団体が自発的に取り組む土壌を築くべきでは(全国の成功事例はほとんどこのパターンである。)</p> <p>・補助金の補助要綱はどうなっているのか、決算額の詳細を訊く。</p> <p>・今後の方針は拡充となっているが、活動指標は下がっている・・・。</p> <p>・国・県補助金の今後はどうなるのか。(防犯カメラがにぎわい創生対象?)</p> <p>・イベントで誘客するだけで、商店街が何に向かって活性化しようとしているのか見えない。</p> <p>国県の補助事業を活用を。商店街そのものの方向を。</p> <p>目標は、どこにあるのか</p>									
	事務事業評価適合性										
	適合										
	事業				コスト						
維持	維持										
外部評価	判定結果	委員数	0名	拡充	名	維持	名	縮小	名	廃止	名
	目的・内容	成果指標	意見提言								
	活動指標	妥当性									
	有効性	効率性									

10	商店街にぎわい創生事業	担当課	産業振興課
----	-------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数 7名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (5名) 妥当である (2名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (3名) なっている (4名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (5名) なっている (2名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (1名) 高い (5名) ふつう (1名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (3名) 得られている (3名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (0名) 高い (5名) ふつう (1名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

拡充	(3名) 拡充 (2名) 維持 (2名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値の見直しで達成率が見た目上上がるのは問題だと思います。</li> <li>・成果指標の設定に問題があるので、改良した方がよい。</li> <li>・基本方針に沿って事業を進めていただきたい。</li> </ul> <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の未来像を対話してみてください。Old nomalに戻るのではなくNew nomalを作っていく方が魅力的だと思います。</li> <li>・あかりオブジェの設置数を増やし、オブジェマップを作ってほしい。一方、一部の商店街にしかメリットがない。城下町高鍋らしい商店街を目指すのであれば、当時の風情を残す商家を大切にしてほしい。</li> <li>・よりいっそう、高鍋らしいまちづくりをしていただき、元気な高鍋、活気のある高鍋になってほしい。</li> <li>・昼夜違った姿を見せるあかりオブジェはとてもいいアイデアだと思います。</li> <li>・一過性のイベントだけでは恒常的なにぎわいにはつながらない。</li> <li>・補助については、事業内容を精査する必要がある。</li> <li>・人が集まるどころだけに、防犯カメラの設置は必要である。</li> </ul>	

評価表

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	162	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	たかなべ未来づくり事業				
担当課(局)・係	政策推進課	総合政策係	記入者	日高茂利	
事業期間	H26 年度 ~	H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告 掲載なし
事業の内容	住民参画によるまちづくりを進めるため、町民自らが企画提案した公共性の高い事業に対して補助金を交付し、提案した町民による事業の実施を支援する。なお、対象事業の審査についても、町民からの公募委員で構成する「たかなべ未来づくり事業検討委員会」において選考を行う。				

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください
---------	--------	----------------

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	5-1 町民との協働の推進	(1) 町民参画によるまちづくりの推進	協働のまちづくりの推進

第五次高鍋町総合計画（後期）  
基本方針  
主要な成果

●町民の自発的な活動を支援し、「人間力」「地域力」を生かした協働のまちづくりを推進します。  
●住民活動団体の活動支援や各団体間の連携を促進するための協働推進体制を構築します。  
●協働によるまちづくりの推進を担う人材の育成に努めます。  
●「協働のまちづくり指針」に基づき協働事業を推進します。  
●町民の積極的な参加を促すため、審議会等委員公募制度の充実を図ります。

町民の参画によるまちづくりの推進と協働意識の醸成が図られた。

決算額	総務費		総務管理費		企画費		企画費	
	款	項	目	細目	目	細目	目	細目
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算		
	報酬	— 円	13,750 円	原材料費	— 円	0 円		
	賃金	— 円	0 円	公有財産購入費	— 円	0 円		
	給料	— 円	0 円	備品購入費	— 円	0 円		
	職員手当等	— 円	0 円	負担金補助・交付金	— 円	1,287,000 円		
	共済費	— 円	0 円	扶助費	— 円	0 円		
	報償費	— 円	0 円	貸付金	— 円	0 円		
	旅費	— 円	0 円	補償補填・賠償金	— 円	0 円		
	公債費	— 円	0 円	償還金・利息・割引料	— 円	0 円		
	需用費	— 円	0 円	投資及び出資金	— 円	0 円		
	役務費	— 円	0 円	寄附金	— 円	0 円		
	委託料	— 円	0 円	積立金	— 円	0 円		
	使用料・賃借料	— 円	0 円	公課費	— 円	0 円		
	工事請負費	— 円	0 円	繰出金	— 円	0 円		
				合計	0 円	1,300,750 円		

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
採択事業数	事業	検討委員会開催数	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	採択事業数	事業	目標値	4	4	4	
			実績値	4	3	3	
			目標達成率	100%	75%	75%	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	検討委員会開催数	回	計画値	2	2	2	
			実績値	2	2	2	
			計画値				
実績値							
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価							
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり							
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である							
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている							
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している							
	すでに目標を達成していないか	継続でさらに効果あり									
主管課(局)による評価											
この事務事業に対する考え				今後の方針							
<p>「第五度高鍋町総合計画」の基本目標の1つに掲げる「町民が主役のまちづくり」をすすめていくためには、ボランティアやNPO等は重要な役割を担っており、それらの支援を行うことで「高鍋町協働のまちづくり指針」で示す町民参画の促進されることとなる。</p> <p>「たかなべ未来づくり事業」は、協働事業の1つの形態として、町民がまちづくりに関心を持ち、自ら目的を思考し、主体となって行動するきっかけづくりとなるものである。</p>				事業							
				コスト							
内部評価	判定結果	コメント ・現状を維持する中で周知を図りながら様々な可能性を実現できるような事業展開が図れればよいと思われる。 ・事業継続は3か年を期限としているので、新たな団体の申請が待たれる。.. ・高校生の参加はできないか。 ・提案事業の内容を精査をする必要がある。 ・内容のマンネリ化があるのでは									
	事務事業評価適合性										
	適合										
	事業				コスト						
維持	維持										
外部評価	判定結果	委員数	0 名	拡充	名	維持	名	縮小	名	廃止	名
	目的・内容	成果指標	意見提言								
	活動指標	妥当性									
	有効性	効率性									

11	たかなべ未来づくり事業	担当課	政策推進課
----	-------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数 7名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (6名) 妥当である (1名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (0名) なっている (7名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (2名) なっている (5名) なっていない
妥当性	市民のニーズは高いか (1名) 高い (6名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (4名) 得られている (3名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (1名) 高い (5名) ふつう (1名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

維持	(1名) 拡充 (4名) 維持 (2名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代を担う人づくりの件に関してはよく説明されていたが、他の2つのプロジェクトに関してあまり説明がされなかったように思う。</li> <li>・基本方針に沿った事業内容であってほしい。成果と成果指標の関連が不明。</li> <li>・成果指標の「採択件数」は活動指標としたほうがよい。</li> </ul> <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同一法人が連続して補助を受けているが、一定の制限を設けてはどうか。</li> <li>・20%の自己負担があることは重要である。NPO法人以外の応募は無いのか。申請を働きかけることも必要ではないか。</li> <li>・「元気な未来の高鍋」をイメージできる事業を支援してほしい。</li> <li>・未来は不確定なものであるため、その分ビジョンをしっかりとっておくべきと考えます。関係者すべてを巻き込む勢いで、共有のための会話をしていってほしいと思います。</li> <li>・継続していくことで目標が見えてくると思うので、地味な仕事ですが次世代のために必要だと思う。</li> </ul>	

## 高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	189	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	「ふるさと納税制度」促進事業				
担当課(局)・係	政策推進課	財政経営係	記入者	上妻信一	
事業期間	H26	年度 ~	H28	年度	事務事業評価
	評価対象	主要な成果報告	掲載なし		
事業の内容	町広報、HP等を通して全国にふるさと情報を発信し、「ふるさと納税」による寄付金を募る。				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	5-2 効率的で信頼される行財政運営	(1) 効率的で信頼される行財政運営	持続可能な財政基盤の構築
	-	-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行財政改革に継続して取り組み、人件費の抑制、財産の有効活用などによる経費節減・合理化に努めます。</li> <li>●施設の維持管理費などの増大が見込まれる中、中長期的な視点から予算配分を行うため、中期財政計画を継続して策定するとともに、予算や総合計画実施計画と連動した計画となるよう検討を行います。</li> <li>●受益者負担の原則に基づく、使用料・手数料・分担金などの適正化を進めます。</li> <li>●事業の推進にあたっては、国・県の支援制度等の効果的な活用を図るとともに、一般財源の確保に努めます。</li> <li>●現在実施しているホームページや広報紙、大時計台への有料広告のほか、新たな財源の確保に向けた施策の検討を行います。</li> <li>●自主財源の根幹をなす町税や保険料・使用料等、町の債権の収納率向上を図るとともに、町の債権の適正な管理に資するため高鍋町債権管理条例に基づき事務処理を行います。</li> <li>●納期内納付を推進するとともに、完納している納税(納付)者との公平性を確保する観点から、財産差押等の滞納処分を強力に推し進めます。</li> </ul>
----------------	------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

主要な成果	平成26年度は、18人から延べ19件、327万円のふるさと納税をいただいた。 (平成25年度比:6人、6件増。154万5千円増) 平成25年度末受入分(3月補正後受入分)と合わせ、352万円の基金積立ができた。 平成26年度末現在基金残高(ふるさとづくり基金(ふるさと納税分)):7,508,000円
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

決算額	款	総務費	項	総務管理費	目	財政管理費/財産管理費	細目	財政管理費/基金管理費
		予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算		予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算
		報酬	-	0円		原材料費	-	0円
		賃金	-	0円		公有財産購入費	-	0円
		給料	-	0円		備品購入費	-	0円
		職員手当等	-	0円		負担金補助・交付金	-	0円
		共済費	-	0円		扶助費	-	0円
		報償費	-	46,671円		貸付金	-	0円
		旅費	-	0円		補償補填・賠償金	-	0円
		公債費	-	0円		償還金・利息・割引料	-	0円
		需用費	-	1,086円		投資及び出資金	-	0円
		役務費	-	1,340円		寄附金	-	0円
		委託料	-	0円		積立金	-	3,520,000円
		使用料・賃借料	-	0円		公課費	-	0円
		工事請負費	-	0円		繰出金	-	0円
					合計	0円	3,569,097円	



◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
ふるさと納税件数	件	「ふるさと高鍋だより」発行回数	回
ふるさと納税金額	円	ふるさと納税促進パンフレット配布数	部

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	ふるさと納税件数		件	目標値	11	13	14
実績値				10	13	19	
目標達成率				91%	100%	136%	
ふるさと納税金額		円	目標値	1,300,000	1,500,000	2,000,000	
			実績値	1,346,000	1,725,000	3,270,000	
			目標達成率	104%	115%	164%	
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	「ふるさと高鍋だより」発行回数	回	計画値	4	4	4	
実績値			4	4	4		
ふるさと納税促進パンフレット配布数	部	計画値	100	200	1,000	転出者及び近畿高鍋会でパンフレット配布	
		実績値	100	183	672		
			計画値				
			実績値				

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働に向けて検討・協議中
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか	継続必要あり		

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
ふるさと納税制度は、ふるさとを応援したいという思いを寄付というかたちにしたもので、貴重な財源として大変ありがたい。今後は、高鍋町のPRや特産品のPRを行い、さらに多くの方に寄付していただけるよう研究していく必要がある。		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	拡充	拡充	

・全国の傾向、町の方向性からも拡充すべき。  
 ・地場産業振興会と町屋本店の詰め合わせを返礼品にする予定だが、ネームバリューやインパクトなど宣伝力が求められる。  
 ・この制度を活かし、町のPRや特産品のPRを行う必要がある  
 ・お返し品の、選定を急ぐこと

外部評価	判定結果		委員数								
	目的・内容	成果指標	0名	拡充	名	維持	名	縮小	名	廃止	名
	活動指標	妥当性	意見提言								
	有効性	効率性									

12	「ふるさと納税制度」促進事業	担当課	政策推進課
----	----------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数 7名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (7名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (7名) なっている (0名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (7名) なっている (0名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (5名) 高い (2名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (6名) 得られている (1名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (6名) 高い (1名) ふつう (0名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

拡充	(6名) 拡充 (0名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も意欲的なPRをお願いします。</li> <li>・ふるさととして愛着の持てる高鍋づくりが大切である。職員はフロンティア精神で取り組んでほしい。</li> <li>・全国で取り組まれているため、高鍋町でも進めていく必要がある。町のPR、活性化に向け不可欠である。</li> <li>・他の市町村のまねをせず、高鍋町の独自性を出してほしい。寄附本来の趣旨を尊重してほしい。</li> </ul>	

## 7. 今後の外部評価に向けての提言及び要望

### ①事務事業の選定について（選択方法やヒアリング件数など）

- ・ ヒアリングを実施する事業数が限られているため、対象事業を一定以上の規模の事業又は主管課が特に重要とする事業に絞ってはどうか。
- ・ 外部評価を行ったことのない事業を優先してヒアリング対象としてもよいと思います。
- ・ 補足資料も事業選定の際に配付されるとよい。

### ②評価表及び補足資料について

- ・ 「成果指標」と「活動指標」の混乱や、目標値の変更により目標達成率による比較ができなくなっている等、適切な評価が行えない点があった。
- ・ 評価表の作成について、作成例の配付等適切な評価表の作成ができるよう指導が必要。特に「成果指標」と「活動指標」が適切に作成されるようにしてほしい。
- ・ 委員の質問内容から、評価表を見て内容を理解することが難しいように感じる。評価表の構成の見直しが必要。
- ・ 抽象的で評価しづらい点もあるが、常に町民満足度を意識してほしい。評価のために現地確認等を行っているのだから、事前に補足資料まで配布されるとありがたい。

### ③ヒアリング時における職員の対応について（説明能力等）

- ・ 評価表の記入者自身が事業内容を十分に把握しきれていないと思われる事業があった。
- ・ 課長以下補佐、係長同席で評価に臨む等熱意を感じられる課があり、成果を期待できると感じた。
- ・ 事業の成果について、事業の実施中や実施後に実績の現場確認をお願いしたい。
- ・ 人事異動の際に十分な引き継ぎをお願いしたい。
- ・ 説明者はその事業を代表する職員だと思うので、代表としての意識を持ってほしい。
- ・ 担当者により資料の充実度や説明の分かりやすさが極端に違っていた。
- ・ 冒頭の説明は、外部の者にその内容を理解させるものであるため、与えられた時間でどのように説明をすればよいか十分に検討のうえ説明を行ってほしい。また、質問に全て答えられるようにしてほしい。
- ・ 各課とも誠実に対応していただいたと思うが、一部質問の回答の声小さかったりしたのが残念だった。

### ④ヒアリングの日程時間等について

- ・ 特段問題は感じませんでしたが、時間配分を考慮した説明をお願いします。
- ・ 今回は半日×3日の日程であったが、1日かけて委員同士の懇談を交えながら行うのもよいのでは。
- ・ 評価シートの記入の前に、委員間の討議が必要と思います。

### ⑤その他（自由記述）

- ・ 担当者一人一人にはそれぞれその事業におけるビジョン等があると思いますが、担当者間で共有がなされていないと、いい結果、いい未来につなげることは難しいと思います。
- ・ 「評価シート」の提出は、記述等あるので後日提出としたほうがよい。
- ・ 評価の結果が次年度以降どのように反映されているのかが分からない。誰が見ても分かりやすく、順序だった評価表や外部評価となるようさらに工夫してほしい。
- ・ 外部評価委員に応募したことで、町行政への関心がさらに湧いてきた。